

スペイン日本語教師会ニュースレター



スペイン日本語教師会
ニュースレター第5号
2012年4月発行
©スペイン日本語教師会
編集 藤野華子

CONTENTS

1-2 スペイン日本語教師会 祝3年!

2012年2月11日に開催された第
3回総会および研修会について
藤野華子

2-4 研修会

基調講演について
大石恵
ワークショップについて
加藤さやか

4-5 APJEへようこそ!

新会員の方からのひとこと
Nobuo Ignacio López Sako
西岡あや
Daniel Sastre

5 懇親会

会員100名達成!
お知らせ

6 Q&A 第3回総会・研修会 アンケートの結果

7 2011年度会計報告

2012.02.11

スペイン日本語教師会 祝3年!

2012年2月11日(土)、国際交流基金マドリッド文化センター(JFMD)ホールでスペイン日本語教師会(APJE)の第3回総会および研修会が行われた。3年目に入ってAPJE会員は設立当初の倍にあたる106名になった。今回はそのうちの会員48名と非会員2名、計50名の参加となった。

開会にあたってJFMDの上野所長からは会員が100名を超えたことへの祝辞と国際交流基金(JF)の新事業として始まった日本語講座についてのお話があった。国際交流基金では従来日本語講座は行っていなかったのだが、昨年より新たな事業として世界中で準備が進められ、JFスタンダード準拠の新教材「まるごと A1」も開発された。スペインでは昨年10月から「まるごと A1 試用版」を使って、JFMDとCasa Asiaで講座が開講されている。またAPJEとの協同プロジェクトとして「まるごと」のための文法解説書も執筆された。上野氏からは今後もAPJEと二人三脚でスペインの日本語教育の推進を図って行きたいとの意向が述べられた。

続いて鈴木会長からはこの2年間で会員が倍増してスペインにおける日本語教育ネットワークが拡大したことに対する感謝の言葉が述べられた。また、今年は本研修会のテーマである「日本語リソースの活用」と6月にバルセロナで行われるシンポジウムのテーマ「日本語教育とEラーニング」を通じて、新時代の日本語教育について考えて行くことが伝えられた。

最後に在スペイン日本大使館の前東文化担当書記官は、「文化外交」、つまり民間レベルでスペイン

人の対日関心に応じていくことが日西外交の礎である、と述べられ、スペインにおけるここ10年間の日本語学習人口の急増、そしてここ2年間のAPJEの成長ぶりをうけて、今後も大使館としてAPJEおよびスペインでの日本語教育を全面的にサポートをして行く意向が示された。また、2013年は日西交流の400周年にあたることから、各分野で記念事業が予定されていることが伝えられ、それらに対する協力も要請された。



開会式に続いて総会では、まず、鈴木会長から2011年度のAPJEの活動について報告された。2011年度は2月11日に開催された総会・研修会に続き、4月30日に静岡大学の矢崎満夫先生を招いてアニメ・マンガをテーマにしたワークショップ、6月25日にブダペスト日本文化センターの境田徹先生を招いて文字教育をテーマにしたセミナー、9月2日に早稲田大学の川上郁雄先生を招いて継承日本語教育をテーマにした研修会が行われた。教材開発では先述の「まるごと」のための文法解説書が今枝亜紀、熊野七絵、鈴木裕子、藤野華子の共著で執筆された(近日中にAPJEおよびJFMDのホームページで公開予定)ほか、高橋水無子によってJF Can-doのスペイン語版が作成された(APJEのホームページで公開中)。また、ヨーロッパ日本語教

師会ではバルセロナ自治大学の白石実先生が役員として選出され、ニュースレターを担当されることになった。2012年度には現在、下記の研修会が予定されている。

● 4月14日 (土)

第7回APJE日本語教育研修会
「CEFR/JFスタンダード授業実践報告」

● 6月28日 (木) ・ 29日 (金)

第2回APJEシンポジウム・バルセロナ大会「日本語教育とE-ラーニング」

● 10月20日 (土)

第8回APJE日本語教育研修会
「「書くこと」を考えるーCandoを意識した実践ー」

また、総会では2013年度にヨーロッパ日本語教育シンポジウムの開催地として立候補することが会員に提案された。本シンポジウムはヨーロッパ日本語教師会(AJE)主催のもので、日本・欧州から毎回約200名の日本語教育関係者が集結する。現在スペインからのAJE会員は9名となり、欧州の中でもスペインは主要なメンバーになりつつある。このような背景を受けて、今回開催地の立候補が検討されるようになった。提案は全会一致で承認され、今後正式にAJEへ立候補を表明することになる。今のところ、開催日程は2013年9月5日から7日の3日間、場所はマドリード・コンプルテンセ大学文学部。

続いて、書記の藤野華子からは2011年度のホームページにおける活動報告があった。2011年度は1日あたり平均146回のアクセスがあり、昨年度比(1日平均43.6回)約4倍となった。ニュースレターは3月と9月に2回発行された。また日本語を教える中で感じることや教え方のコツなどを連載した「教師の知恵袋」、そして新企画「APJE教案バンク」について紹介がされた。会計の益子夏実からは2011年度の会計報告(p.7参照)がされた。また今年のシンポジウムの開催と2013年のヨーロッパ日本語教育シンポジウムの開催を見込んで会費を一般会員25ユー

ロ、学生会員20ユーロに改訂することが提案され、全会一致で承認された。新会費は来年度から適用される。

最後に今回役員が任期を迎えたことから、現副会長フランシスコ・バルベランの進行で新役員の選出が行われた。会長、副会長、書記、会計は現職の各名が継続を表明し、全会一致で再任が承認された。



左から、益子、鈴木、バルベラン、藤野

またその他、研修会などの準備を担当する一般役員として下記の会員が立候補を表明し、同じく全会一致で就任が承認された(50音順)。

今枝亜紀
江崎美保子
大和田道子
加藤さやか
吉本由江
渡辺未知世



左から、吉本、渡辺、大和田、江崎、加藤、今枝

以上、新役員の決定をもって総会は終了した。

総会に続いてJFMDの熊野七絵日本語上級専門家からスペインの日本語教育の沿革、背景、現状、そしてJFMDの活動について報告があった(資料はapje.esの[アーカイブ]からダウンロード可)。スペインでは

ここ10年間で日本語学習者が急増し、現在では約4千人にのぼる。そのうちの約千人が日本語能力試験を受験しており、受験者数ではヨーロッパ有数である。特徴としてスペインは独学、自律学習者の割合が高く、今後は中上級者や自律学習者のニーズに応じて行くことが求められていきそうだ。そのような事情を受けて、JFMDでは昨年度、バルセロナ、バレンシア、セビリア、サンティアゴ・デ・コンポステラ、アリカンテ、そして国外はベルギーとポルトガルで巡回セミナーを開催した。今年度も各地への巡回セミナーを予定しており、招致要請も歓迎している。

研修会

「日本語リソースの活用」をテーマとした今回の研修会では東京国際大学の川村よし子教授による基調講演が行われ、昼食を挟んでコンピュータを使いながら川村先生と熊野七絵先生によるワークショップが行われた。基調講演では川村先生が1999年から手がけていらっしゃる「リーディング・チュウ太」のコンテンツと諸機能が紹介され、授業への様々な活用法が提示された。ワークショップでは基調講演を踏まえ、「リーディング・チュウ太」を使って実際に教材を作成する作業がグループに分かれて行われた。

参加者からの感想

基調講演について

大石恵

「『リーディングチュウ太』をご存知ですか。」と凛とした声が響き、始まった講演会。

会場の半分ぐらいが、手を挙げた。「リーディングチュウ太」とは、多言語辞書機能付きの日本語読解学習支援システムで、旧日本語能力検定試験出題基準に沿った単語、漢字のレベル判定も出来るように設計されている。日本語学習者のためにイ



研修会の様子

左から、熊野七絵、川村よし子、高橋水無子

ンターネット上で (<http://language.tiu.ac.jp/>) 無料で提供してある。少し早めのテンポが丁度いいくらいで、要点を押さえつつ、授業で使う教材を作成する上での、「チュウ太」の実践的な使用例を盛り沢山に取り上げ、講演が進む。「チュウ太」の紹介に終わらず、「チュウ太」の検索機能を利用し、熟語の意味の類推能力を高めるような漢字教育にまで話が発展していった。

この「チュウ太」は、日本語学習者のみならず、日本語教師にとっても非常に有用で、ルビ振り機能、単語・漢字のレベル判定機能、検索機能を利用して、学習者のレベルの確認から、学習者のレベルにあった教材作成、さらには、自律学習を組み入れた読解授業へ発展させていくことが出来ると、授業への「チュウ太」の利用が提案された。

例えば、学習者のレベル確認に関しては、辞書機能が付属しており、読解教材の中の、知らない単語もクリック一つで意味が調べられるようになっているばかりではなく、クリックされた単語がリストとなって別の窓に現れる仕組みになっているため、その単語リストをレベル判定機能にかけると、学習者の持っている語彙レベルが判定できる。

また、読解教材作成に関しては、例えばネット上にある、電子化された文章をそのままコピー&ペースト

して、ルビ振り機能を利用すると、簡単に「生の素材」がルビの振られた読解教材へと変身していく。さらに、単語、漢字のレベル判定を行うと、その選んだ「生の教材」が学習者のレベルに合ったものかどうかの判定が出来る。合っていない場合は、生の素材に手を加え、学習者のレベルに合った読解教材に書き換えていくことも出来る。それに加え、前述の辞書機能を利用して、読解教材の新出単語リスト作りも簡単にできるようになっている。

このように便利な「チュウ太」であるが、欠点もある。ルビ振り機能や検索機能は、機械が処理するもので、間違いも生じるし、正しいものを選択することも出来ない。このことを常に念頭に置いて利用してほしいとのことだが、その間違いも工夫次第で立派な教材となる。例えば、「チュウ太」のルビ振り間違いを逆手に取り、読み間違い付きの読解資料を配布し、学習者が漢字の読みをどれだけ習得しているかを量るために利用する方法もあるとのことである。

このように、「チュウ太」を活用して、授業教材作りで上手に手抜きをし、それで空いた時間を使って、よりよい授業を行えるよう工夫してほしいとのことであった。

「チュウ太」は非常によく練られて作られており、工夫次第で様々な活用方法が考えられると感じた。特

に、川村先生が熟語の意味の類推能力を高めるような漢字教育を提唱なさっているように、「チュウ太」の検索機能を活用し、漢字の性質や熟語の中での当該漢字の位置によって決まる文法的意味の法則を見つけ、教育の場への応用に大きな役割を果たすのではないだろうか。

参加者からの感想

ワークショップについて

加藤さやか

午前の部の川村よし子先生の基調講演をうけて、午後の部では実際に『リーディング・チュウ太』を活用して、「現実社会の日本語リソースを元にレベルにあった課題遂行型の読解教材を作成する」というワークショップに取り組みました。

まずは、4~5人のグループに分かれ、CEFRのどのレベルの学習者を対象とするかを決め、さらに該当レベルのJF Can-doの受容（読むこと）の 카테고리の中から一つ選択。それぞれ「手紙やメールを読む」「必要な情報を探し出す」など選択したカテゴリーに基づいて、「バス会社のツアー広告」や「外国人登録」、「旅行記」等自分たちで素材のタイプを決定したところで、全員パソコンルームへ移動しました。



実際にインターネットを使って相応しい素材を探し出すと、チュウ太の出番です。生の素材をレベルにあった“わたしたちの教材”へと加工するために、語彙レベルチェッカーや漢字レベルチェッカーを駆使します。対象レベルより上の語彙を書き換えたり、別に語彙リストを作成したり、漢字にルビを振ったり・・・。川村先生の説明を聞いていたときには、分かったつもりでいたチュウ太の利用法も、いざ自分でやってみると、「あれ、語彙レベルをチェックするにはどこの画面だっけ?」「ルビ振りをする機能は…」など戸惑う場面もあり、グループ内でお互いフォローし合いながら、パソコンを囲み和気あいあいと(?)作業が進められました。

その後のワーク成果の発表タイムでは、各グループの力作が紹介され、新たにアイデアや活用法が共有される結果となりました。今回このようにチュウ太を使った教材作りを実際にやってみることで、『リーディング・チュウ太』の学習支援システムとしての利便性を実感することができました。参加者の今後の教材作りへの意欲へとつながったのではないかと思います。

APJEへようこそ!

新会員の方からのひとこと

Universidad de Granada

Nobuo Ignacio López Sako

今回初めてスペイン日本語教師会の総会に参加しましたが、まず驚きましたのはその会員数です。欧州の他国に比べて日本語教育が遅れていたスペインですが、教師会設立からわずか二年で英国やドイツの会員数に並んだというのはすばらしいと思います。それだけ教師がいるのは日本語学習者も増加しているからでしょう。また、研修会はとても興味深かったと思います。川村よし子先生の「リーディングチュウ太」についての基調講演やその後のワークショップは大変勉強になりました。これからも、教師会のこう言った事業に是非参加していきたいと思えます。

Ahora, unas palabras en español. Gracias a la tercera asamblea de APJE he podido entrar en contacto con la comunidad de profesores de japonés en España por primera vez desde que me hice cargo de la docencia de esta lengua en la Universidad de Granada. Para mí es motivo de satisfacción comprobar no solo que la enseñanza y el aprendizaje del japonés siguen aumentando en este país sino que también se garantiza la calidad de la docencia mediante iniciativas e instituciones de este tipo. Solo me queda desear que la asociación siga creciendo en

cantidad y calidad para beneficio de todos los que estamos implicados en la tarea de propagar y difundir en España esta lengua milenaria.

国際交流基金マドリッド文化センター
西岡あや

はじめまして。西岡あやと申します。2月の教師総会に初めて参加させていただきました。

私はJFマドリッドの派遣専門家として昨年10月半ばにマドリッドに来ました。

日本では大学や高校で教えていました。海外では、ブルガリア、ジャマイカでの経験がありますが、スペイン語圏で教えるのは初めて、スペインに来るのも今回が初めてです。そして教師会が存在する国で仕事をするのも初めてです。おかげで何をするにも新鮮で感動が大きいです!

先日の総会では、教師会がとても組織立っていて活発に活動している点にとっても感心しました。そしてスペイン日本語教師の皆様の熱意にも圧倒されました。

ここで皆様とお会いできたのも何かの縁。力不足で至らない点も多いかと思いますが、精いっぱい努力したいと思います。スペイン日本語教師会をこれから一緒に大きく育てていきましょう!

今後ともどうぞよろしく願います。



懇親会

総会・研修会の後、佐藤悟在スペイン日本国特命全権大使のご好意により、大使公邸で懇親会が催された。

佐藤大使からはこの3年間のAPJEの活動についてお褒めのお言葉と今後の発展への励ましのお言葉をいただいた。大使の温厚なお人柄に和んだ雰囲気の中、参加者一同はおいしいお料理と歓談を楽しんだ。

佐藤大使、ありがとうございました！

Universidad Autónoma de Madrid Daniel Sastre

El pasado 11 de febrero tuve la oportunidad de participar en el seminario de la Asociación de Profesores de Japonés en España celebrado en la Fundación Japón de Madrid y la experiencia no pudo ser más satisfactoria. Aparte de ver muchas caras conocidas pude conocer a muchos profesionales con los que intercambiamos impresiones sobre la enseñanza del japonés en España y su estado actual. Uno de los aspectos más interesantes fue el ver la variedad de perfiles de los profesores así como la riqueza que ello conlleva a la hora de materializarlo en clases y estrategias de enseñanza.

Los informes que se presentaron como introducción al seminario en el que se ilustraba la historia de la enseñanza del español fueron muy didácticos y quedé muy gratamente sorprendido al saber que en la actualidad España es uno de los países con mayor crecimiento de estudiantes de japonés dentro del contexto europeo. El taller que se llevó a cabo durante la tarde del mismo día fue una bonita ocasión para

conocer a otros profesores e interactuar en un proyecto común de enseñanza por medio de las nuevas tecnologías, y una actividad de la que saqué un gran provecho.

Sólo me queda agradecer de nuevo a todas la personas involucradas en la realización de dicho evento por su tiempo y dedicación. Espero verlos a todos en el siguiente seminario.

お知らせ

- 🎧 2012年後半、国際交流基金による「日本語教育機関調査」が実施されます。皆様のご協力をお願いいたします。
- 🎧 JFMDリソースセンターの書架に1000点ほど新着があります！
- 🎧 JFMDの日本語講座は見学が可能です。ご希望の方は熊野先生までご連絡下さい。

会員100名達成！

設立3年を迎えたスペイン日本語教師会は会員が107人になりました。地域別の分布は次の通りです。

REGIÓN	人数
Andalucía	7
Aragón	2
Asturias	1
Castilla- La Mancha	1
Castilla y León	11
Cataluña	9
Galicia	6
Islas Baleares	2
C. Madrid	46
Murcia	3
Navarra	2
País Vasco	3
C. Valenciana	4
Extranjero (JP, FR, SE, TR, KE)	10
TOTAL	107

Q&A

第3回総会・研修会アンケートの結果

今回の参加者50名のうち、42名の方からご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました！

Q1. 今回の総会・研修会は、全体にどうでしたか？

とてもよかった 40 まあまあよかった 2

主なコメント：

- リーディング・チュウ太をよく理解できた。
- たくさんの先生達と交流できて、またがんばろうという気持ちになった。
- 基調講演がとてもよかった。ワークショップも楽しく一日があっという間だった。

Q2-1. 基調講演はどうでしたか？

とてもよかった 38 まあまあよかった 1
無回答 3

主なコメント：

- とても便利なツールなのに、今まで活用していなかったのがもったいないと思った。
- 丁寧ながらテンポのよい話し方で、機械オンチのわたしにもチュウ太の使い方、リソースとしての可能性の大きさがとてもよくわかった。
- プロジェクターが大変見にくかった。お話はとても興味深かった。
- 特に漢字語の教え方についてのお話が参考になった。

Q2-2. ワークショップはどうでしたか？

とてもよかった 38 まあまあよかった 4

主なコメント：

- 実際にインターネットを利用・活用し、チュウ太を利用して、活用のポイントがよくわかった。
- 教えてもらったことを実際にやってみて、より理解が深まった。他の先生方とのグループ作業も楽しかった。
- テキストをインターネットで探すのが予想以上に難しかった。

Q2-3. 今後どのようなテーマや内容の研修会、シンポジウム等を希望しますか？

- 個人クラスで使えるテクニク
- スピーキングの指導法
- 中・上級の教え方
- CEFRの基づく試験問題の作成及び評価
- E-文化
- 作文の指導法
- 教室での会話の指導法

Q3. 運営はどうでしたか？

とてもよかった 30 まあまあよかった 3
無回答 9

Q3-1. 開催時期、曜日、時間帯、場所、会場について

- ちょうどよかった。
- 金曜日がいい。
- 授業と重なるので日曜日がいい。
- 開始時間はもっと遅い方がいい。
- パソコンルームが暑かった。

Q3-2. 案内、申し込み、受付、進行などの運営はどうでしたか？

- とてもよかった。

Q3-3. 飲み物や軽食、お弁当の値段、味、量はどうでしたか？

- ちょうどよかった。
- 量も適当だった。
- 緑茶がもっとあると良かった。
- 安い値段でおいしいお弁当だった。

Q3-4. その他、運営に関して何か希望はありますか？

- 特になし。
- 資料はすべて欲しい。
- 名札がはがれやすい。

Q4. APJE, JFMDに今後どんな活動を期待しますか？

- 地方での研修会の開催
- スペイン人日本語教師のためのワークショップ

2011年度会計報告

収入の部 (一般)

年会費	1.655,00 €	(一般20€×76名・学生15€×9名)
非会員参加費	45,00 €	(総会・セミナー非会員参加費)
寄付	150,00 €	(川口先生)
計	1850,00 €	

支出の部 (一般)

総会 (2月11日)		380,67€
講師お礼	100,00€ (50€×2名)	
学生補助お礼	20,00€	
講師送迎費	30,00€ (10€×3回)	
講師お土産代	40,65€ (4名分)	
資料代	141,51 € (コピー・ポスター・教師会印)	
お茶代	41,35 €	
文房具	7,16€	
ワークショップ (4月30日)		51,52€
講師お土産代	10,90€	
講師送迎費	10€	
お茶代	30,62€	
セミナー (6月25日)		205,81€
講師お土産代	10,90€ (1名)	
学生補助お礼	20,00€	
講師送迎費	10,00€ (1回)	
講師タクシー代	9,25€	
資料代	106,20 € (コピー)	
お茶代	48,86€ (講師・補助員弁当代含む)	
文房具	0,60€	
研修会 (9月2日)		50,11€
講師お土産代	21,80€ (2名分)	
講師送迎代	10,00€	
お茶代	18,31€	
ホームページ・ドメイン維持費		27,14 €
交通費 (AVE Madrid-Barcelona 往復・会長出張)		206,65 €
コピー代		2,48€
湯沸しポット		34,90€
銀行口座維持費		58,00 €
計		1017,28 €

2010年12月31日残高 500,69€

500,69€ + 収入 - 支出 = 500,69€ + 1850,00€ - 1017,28 € = 1333,41 €

2011年12月31日現在